



# ちょっといい話

シリーズ⑫

## 野球部が毎日、朝掃除を行うのはなぜでしょう？

～2014年の県大会で準優勝した秘密とは？～

岐阜工業高等学校の野球部は、一昨年の夏より毎朝7時30分から8時15分まで、名鉄笠松駅や学校周辺の道路などをボランティアで清掃しています。貴重な朝練習の時間に、なぜ清掃活動を行っているのでしょうか？荻田重睦監督と林康陽主将(2年生)にインタビューをしました。

### ○なぜ朝掃除を指示されたのですか？

荻田監督：2つ理由があります。1つ目はチームを強くするために、野球以外のことに取り組み、選手に人間的な成長をして欲しかったからです。2つ目は笠松町の皆さんに「愛される野球部」にしたかったからです。

### ○監督から朝掃除をするように指示された時、どんな気持ちでしたか？

林主将：最初は監督に言われたから掃除をやっていましたが、徐々に周りを見ることが出来るようになりました。そのことは野球にも役立っています。今では選手同士で、町をきれいにするアイデアを

出し合えるまでになりました。

### ○朝掃除を行うことで、部は強くなりそうですか？

林主将：行動するときの考え方などにジワジワと効いてきています。また、町民の方から「がんばっているね」と声を掛けていただけることが、自信につながっています。



荻田監督(右)と林主将(左)

野球部は今日も朝掃除に取り組んでいます。その姿を見かけられましたら、ぜひ一言応援をお願いします。その一言が県大会での優勝につながることでしょう。野球部の皆さん、野球も朝掃除も一層頑張ってください。

身近で「ちょっといい話」がありましたら、中央公民館へ電話、FAX、郵送、メールなどご連絡ください。お待ちしております。  
☎388-3926 FAX388-3233  
メールアドレス:kyouikubunka@town.kasamatsu.lg.jp

## かきまつの民話「誓願寺の門前市①」

### 誓願寺の門前市①

「おとつあま。きょうもええ天気で、ありがたいなも。」

「そうじゃて。誓願寺の灸は、ようけ人がござるぞ。」

木曾川ばたで、日の出を拝むおとみと、つれあいの弥平は、顔をほころばせてうなずきあった。

ふたりは、港町の木戸のそばで、小屋がけの焼きだんごの店をだしていた。

町のもんは、この店を「木戸のだんご屋」と呼んで、なかなかよう繁盛した。パタパタと、うちわで炭火をあぶっては、だんごを焼くこうばしとかざは、まったくいいもんだった。

「おとつあま。誓願寺様に

頼んで、あそこでだんごを売らせてもらったらどうやろうなも。」

「そうやなあ。おれも、前からそう思ってたわい。あんだけの人が、灸をすえてもらいにござるんやで、ここへ買いに来てもらうより、あそこで売らしてまやあえぞよ。」

「いっぺん聞いてみよかなも。門前で売らしてまやあえで。」

「うん。行ってこい。まあ、灸をすえてまう人が来てござるやろ。」

明治の終わり頃から誓願寺では、毎月十四日になると、大垣の敬恩寺から灸をすえに、お庫裡様がみえた。

(つづく)

